

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	SOJO	事業所番号	3410222693
住所	広島市中区国泰寺町一丁目9-7 ライフメント国泰寺 II 201	管理者名	今井 三千和
電話番号	080-6734-6682	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>・活動場所： ころろホスピタル草津内会議室、瀬野・石内等の協力農地</p> <p>・実施日程：</p> <ul style="list-style-type: none">・【2025年1月～2月】プロジェクト推進会議（計3回）・【2025年3月～】現地踏査、受入環境整備、実務協議 <p>・活動概要：</p> <p>「医療・農業・福祉」の多職種連携による、次世代型農福連携プログラムの基盤構築を遂行した。2026年度からの本格稼働を視野に入れ、全農、医療法人、複数の農業法人と密な協議を重ね、包括的な支援体制を整備した。3月以降は実際の農地にて、障害特性に合わせた作業の切り出し、安全確保の確認、農機具の調整、人員配置のシミュレーションを多角的に実施した。</p>	<p><活動の様子></p>     <p>会議室で話すだけでなく、実際に現地で話を重ねることで、農福連携によって福祉事業所が農業にもたらす可能性など理解を深めることが出来た。また、実際に稼働した場合の動きや配置等も整理することが出来た。</p>
<p><目的></p> <p>・地域連携のねらい：</p> <p>単なる作業提供に留まらない、医療的ケアと高度な農業技術を両立させた「Nou-Fukuモデル」の構築を目指す。地域資源である耕作放棄地を有効活用し、持続可能な就労インフラを地域社会に根付かせることを目的とする。</p> <p>・地域へのメリット：</p> <p>農業界の深刻な人手不足に対し、専門トレーニングを受けたA型事業所が「即戦力」として参入することで、地域農業の活性化に寄与する。医療・福祉の知見を現場に還元し、安心安全な地域共生モデルを提示する。</p> <p>・対象者へのメリット：</p> <p>実習を通じた緻密なマッチングにより、利用者の特性に合致した環境でプロの農業人としてのキャリアを形成できる。医療的バックアップがある環境下で、本人が自信を持って能力を発揮できる体制を保障する。</p>	
<p><成果></p> <p>・実施結果：</p> <p>稼働前の準備段階として、農地の詳細確認と協力機関のネットワーク拡大に成功した。定例会議の開催により、異なる専門分野を持つ関係者間で「共通言語」を用いた強固な連携体制が確立された。</p> <p>・得られた成果：</p> <p>採用面接と実習を並行し、個々の適性を見極めるプロセスを構築した。これにより、次年度に中核として活躍できる人員確保に目途が立ち、質の高い雇用創出に向けた準備が整った。</p> <p>・今後の課題：</p> <p>稼働後の反応に基づきプログラムを微調整し、より個々の特性に寄り添った個別支援計画へと反映させていくことが肝要である。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】</p> <p>弊社は『農業×ビジネス』の視点から、持続可能な農業モデルの構築を支援していますが、SOJO様の進めている農福連携プロジェクトは、単なる福祉作業の域を超えた『第3次産業（流通・サービス）を見据えた戦略的な取り組み』であると高く評価しています。</p> <p>現段階では実習前ではありますが、1月以降の定例会議や瀬野・石内の圃場視察を通じて、農地の特性把握や緻密な工程設計を共に行ってきました。特に、利用者の適性を見極めた上での人員採用や、全農様を含めた広域なネットワーク構築に注力されている点は、次年度以降に『確実な戦力』を輩出するための非常に重要なプロセスです。障害のある方が、単なる補助作業員ではなく、流通や品質管理を担う『農業のプロフェッショナル』として活躍できる基盤が着実に整っていると感じています。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】</p> <p>今後は、実際に採用されるメンバーと共に、弊社が得意とする『高付加価値な販路の開拓』や『ブランディング』に踏み込んでいきたいと考えています。農業現場のIT化や、農作物に付加価値を付ける工程（パッキングや加工等）において、利用者の皆様が持つ丁寧な仕事ぶりが最大限に活かされるよう、物流・販売の両面から連携をさらに深め、地域農業の新しい成功事例を共に創出していく所存です。</p>

連携先企業名	株式会社FARMRES PROFIT	担当者名	竹内 正智
--------	--------------------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	SOJO	事業所番号	3410222693
住所	広島市中区国泰寺町一丁目9-7 ライフメント国泰寺Ⅱ201	管理者名	今井 三千和
電話番号	080-6734-6682	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>○活動場所：山口県岩国市内（自社管理物件） ○実施日程：令和7年7月～（計6回実施） ○実施概要： 外部の清掃専門業者（押谷クリーナー）を講師として招き、実際の物件をフィールドとした「特別清掃技術指導」を実施。プロの視点による品質基準、機材（ポリッシャー等）の操作、薬剤知識、および現場での安全基準について、直接的な実技講習を行った。</p> <p><目的></p> <p>○利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい： 自己流ではない「プロの技術」を直接学ぶことで、利用者が将来的に一般企業や清掃現場で即戦力として活躍できる専門スキルを習得することを目的とする。また、清掃を「商品（サービス）」として捉えるプロ意識を醸成する。 ○利用者にとってのメリット： 専門技術の習得により、劇的な環境変化（物件が綺麗になること）を目の当たりにすることで「自分の力が環境を変えた」という達成感を得られる。また、外部専門家からプロとして正当に評価される経験を通じて、自己肯定感を高め、就労意欲の向上に繋げる。</p> <p><成果></p> <p>○実施した結果： 専門業者との技術指導ネットワークを確立。プロジェクト会議を定例化し、品質管理・安全基準・薬剤知識を事業所内の共通言語として共有したことで、支援員と専門職による多職種連携の基盤が整った。 ○得られた成果： 実機を用いた体験実習を通じ、機材操作の習熟度や体力的耐性、作業マナー等の適性を丁寧に見極めることが可能となった。これにより、次年度に「清掃の即戦力」として活躍できる人員の選定と、質の高い請負業務創出への準備が完了した。 ○課題点： 指導の質を一定に保つため、外部業者と事業所スタッフが密に連携し、指導工程を標準化した「指導者向けガイドライン」の共通化をさらに進める必要がある。</p>	<p><活動の様子></p>      
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】	
「障がい者福祉施設という枠組みを超え、清掃を『商品（サービス）』として捉えるプロ意識の高さが感じられました。特に、技術指導の際に利用者一人ひとりがメモを取り、即座に作業へ反映させようとする真摯な姿勢は、非常に高く評価しています。」	
【今後の連携強化に向けた課題】	
「今後は現場別マニュアルの汎用化と工程の細分化を進め、プロの品質基準と利用者の特性を両立させた評価指標を導入したいと考えています。地域内の清掃ニーズに対する確実な受け皿としての体制を共に確立していきたいです。」	
連携先企業（担当者）	（株）プルブライト（岡崎氏）

利用者からの意見・評価

<p>・「プロの方から直接道具の使い方を教わり、今まで落ちなかった汚れが自分の手で綺麗になった時は感動しました。自信ができました。」</p> <p>・「清掃の仕事がこれほど奥深く、手順や安全が大切だと知りました。学んだ技術を活かして、もっと色々な現場で活躍したいです。」</p>

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	SOJO
住 所	広島市中区国泰寺町一丁目9-7ライフメント国泰寺Ⅱ201
電話番号	080-6734-6682

事業所番号	3410222693
管理者名	今井 三千和
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		90 点
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="radio"/>	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者へ支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者へ支払う賞金の総額以上	<input type="radio"/>	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者へ支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者へ支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者へ支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	<input type="radio"/>	
小計（注1）	5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	<input type="radio"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	<input type="radio"/>	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	<input type="radio"/>	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="radio"/>	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="radio"/>	

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="radio"/>	

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="radio"/>	

1事例以上ある場合：10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	180 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	152	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	19	人	利用者の1日の平均労働時間数	8	時間
-----------------------------	-----	----	-------------------	----	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（3月～2月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
-----------------	---	--------------	---	----	---

前々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
-----------------	---	--------------	---	----	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	7,244,820	円	利用者に支払った賃金総額	174,600	円	収支	7,070,220	円
-----------------	-----------	---	--------------	---------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------------------	-------------------------------------

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-----------------------	--------------------------

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------	-------------------------------------

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
① 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名：「個別支援計画の大切さを考える」	
研修講師：岡田敬之、弘中文恵	
実施日・受講者数 8月 22日 5人	

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名	
実施日 3月 26日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ：ICTアプリによる農福連携の実践	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名：(社) チャレンジド	
実施日/参加者数 10月 7日 4人	

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名：農福連携プロジェクト会議	
主催者名：サイジックファーム	
日時 2月 6日	
内容：農福連携プロジェクトの企画・商談	

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日 28年 1月 1日	
人事評価制度の対象職員数 7名	
うち昇給・昇格を行った者 4名	
当該人事評価制度の周知方法 書面掲示	

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
⑥ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間 月 日～ 月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

⑥ 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。